

## 第19回 会員便り

### 「秋のお茶のみ話し・・・」

石川照子（峡北地区）

突然なってしまった秋も深まり、今年も僅かになってしまいました。なんと時の経つのは速いことでしょうか。

私が日本語ボランティアの会に出会って、はや25年程たってしまいました・・・！後半からはイベントの時に顔を出すくらいの後方支援要員になってしまい、恐縮極まりない次第です。

と言いつつ、国際交流の世界には、いわば逆の立場・・・？として音楽を通じて居つづけています。

「天使にラブソングを」という映画をきっかけにブレイクし続けている「ゴスペルミュージック」の指導に約20年程携わっています。

音楽教室、カルチャーセンターという位置付けで「ゴスペル」をポピュラーミュージックの源流として音楽展開し今現在、5つの団体を持ち、そのディレクターをしています。

私のゴスペルクワイアは、ほとんど英語の歌詞。アフリカン・アメリカンの方たちの、そのいきいきとしたリズム、迫力、豊かなヴォイス、パワーなどをダイレクトに思い、伝えることをモットーとしているためです。

日本語を、とくに漢字圏以外の方たちに教えるのと少々違い、言わば「音声の言語」として日本人の生徒さん達に発音してもらうのは、これけっこうタイヘンです。

特に、私の取り入れている曲は、英語の中でもハーレムを中心としたニューヨーク語が多いのです。楽譜を渡してしまうと、皆さん「読んで」しまい、例えば

Whatever you do～ ホワットトオ エバーア ユウ ドウ～

子音のあとの母音、母音のあとの子音を丁寧に？発音してしまい、リズムに全然間に合いません！

Whatever you do～ ワレバユ ドウ～ ……って言って！！

又、単語末の子音が直後の単語の母音とつなげて発音する「リエゾン」に慣れる練習もしています。

すさまじく速いテンポの曲に英語歌詞をはめ込む。意味は後回し、まずは耳だけで・・・という過激なレッスン展開です。空耳レッスンです！

丁寧な日本語のレッスンとは白と黒。自分が二重人格かと疑ってしまい苦笑いです。

爆笑もまじえて、こんな過激なことも・・・・・・・・・・。

Our God is an awesome God He reigns ~

～阿波が いざ農村が 悲恋！

~from heaven above with wisdom ~

～オッ 派手な婆 初々（ういうい） 凶だ！

~You took away the fear in us.

～油（ゆ）、特価！ 飢えだ！ 不意に茄子！？

Now we praise You `couse You, You delivered us

ナウイ 家中小姑（いえじゅうこじゅうと） 茹でれば出す！

スママセン・・・。

でも出来上がりは、とてもニューヨーク語になりました！

後ほど微調整し原文と意味をしっかりと把握しアップテンポにもかかわらず、つまづかないで素敵に歌っています。

世界の言語や日本においての方言と、ネイティブの発音の鉄壁さにますます驚嘆している日々です。

PS

上記抜粋した「He reigns」という曲、ご興味のある方は、

12/23（水祝）ベルクラシック甲府での、クリスマスコンサートに是非いらして下さい。

石川照子